職 歴 に 関 す る 申 立 書

私の職歴は、下記のとおり相違ないことを申し立てます。

記

1	勤務先の名称	
2	勤務期間	平成・令和　年　月　日　～　平成・令和　年　月　日
		平成・令和　年　月　日　～　平成・令和　年　月　日
		平成・令和　年　月　日　～　平成・令和　年　月　日
3	勤務形態 （該当に○）	正規職員 ・ パート(アルバイト) ・ 臨時職員 ・ 嘱託職員 ・ 非常勤職員 会計年度任用職員 ・ 契約社員 ・ その他(　　)
4	勤務内容 （具体的に）	
5	勤務日数	週　　日 ・ 月　　日
6	勤務時間数	**一週間当たり　　時間　　分**
7	在職証明書が 提出できない理由	
8	職歴の確認書類	年金加入記録の写し ・ 雇用契約書の写し その他(　　)

注）「5 勤務日数」欄は、おおよその日数で構いません。

注）「6 勤務時間数」欄は、可能な限り記載してください。
なお、記載に当たっては、休憩時間を除いた一週間当たりの実働時間数を記載してください。
例） 実働8時間(9:00～18:00(休憩1時間))×週5日＝週40時間

注） 週当たりの勤務時間数が一定でない場合は、平均的な週当たりの勤務時間数を記載してください。

注）「8 職歴の確認書類」欄は、上記の職歴が確認できる書類に○をした上で、この申立書とあわせて提出してください。
代表的な確認書類として、年金加入記録の写しや雇用契約書の写し等があげられますが、その他にも、当時の給与明細や雇用保険の離職票の写し等、参考になる書類があれば提出してください。

注）「8 職歴の確認書類」が提出できない場合、本申立書を提出する必要はありません。

令和　　年　　月　　日

住　　所

電話番号

氏　　名　　印

職 歴 に 関 す る 申 立 書

私の職歴は、下記のとおり相違ないことを申し立てます。

記入例

記

1　勤務先の名称　　**沖 縄 学 習 塾**

2　勤務期間

平成 (令和)	**2**	年	**4**	月	**10**	日	～	平成 (令和)	**2**	年	**8**	月	**31**	日
平成・令和		年		月		日	～	平成・令和		年		月		日
平成・令和		年		月		日	～	平成・令和		年		月		日

3　勤務形態（該当に○）
正規職員 ・ (パート(アルバイト)) ・ 臨時職員 ・ 嘱託職員 ・ 非常勤職員
会計年度任用職員 ・ 契約社員 ・ その他（　　）

4　勤務内容（具体的に）
中学3年生を対象とした数学の授業
中学1年生から中学3年生を対象とした自習室のチューター

5　勤務日数　　週 **6** 日 ・ 月 **24** 日

6　勤務時間数　　**一週間当たり 30 時間 分**

7　在職証明書が提出できない理由
（例）倒産したため
（例）人事記録が残っていないため

8　職歴の確認書類　(年金加入記録の写し) (雇用契約書の写し)
その他（ **給与明細の写し** ）

注）「5 勤務日数」欄は、おおよその日数で構いません。
注）**「6 勤務時間数」欄は、可能な限り記載してください。**
なお、記載に当たっては、休憩時間を除いた一週間当たりの実働時間数を記載してください。
例） 実働8時間（9:00～18:00（休憩1時間））×週5日＝週40時間
注）週当たりの勤務時間数が一定でない場合は、平均的な週当たりの勤務時間数を記載してください。
注）「8 職歴の確認書類」欄は、上記の職歴が確認できる書類に○をした上で、この申立書とあわせて提出してください。
代表的な確認書類として、年金加入記録の写しや雇用契約書の写し等があげられますが、その他にも、当時の給与明細や雇用保険の離職票の写し等、参考になる書類があれば提出してください。
注）「8 職歴の確認書類」が提出できない場合、本申立書を提出する必要はありません。

令和 **9** 年 **2** 月 **1** 日

住　　所　**那覇市泉崎1－○－○**

電話番号　**090-1234-5678**

氏　　名　**新 採 二 郎** (新採) 印